

2022年5月27日

建設通信新聞

自動運転などに対応

自走式駐車場工業会

日本自走式駐車場工業会（栗本和昌理事長）は、東京都千代田区のルポール麹町で定時社員総会と会員懇親会を開いた。2022年



度事業計画・予算案が承認された。栗本理事長は懇親会の冒頭で「自走式駐車場は、災害時の一時避難場所としての社会的な意義もあり、その意義をアピールして普及に努めたい。また、サービスエリアやパーキングエリア、道の駅など訪れる車が増えている施設の駐車場を立体化する手段としても提案したい。今年度に注力するのは主にこの2点だ。中期的には、カーボンニュートラル、電気自動車、自動運転に向けた対応を検討する」と活動方針を説明した（写真）。

（5・19）